

# アチエ災害の甚大さ知る

## 復興青写真に日本の参加を

## アルウイ氏が鳩山氏に要望

アチエ州バンダアチエを十五日、視察した民主党の鳩山由紀夫・元代表、藤田幸久衆議院議員、榛葉賀津也参議院議員は十六日、ジヤカルタの日航ホテルで邦人記者団と懇談し、アチエの被害状況について「写真で見ると、東京大空襲や

広島、長崎の原爆のように、見渡す限り何も残っておらず、人類がこれまでに体験したことのない未曾有の災害であると再確認した」と述べ、日本としても、被害の大きさを考慮し、引き続き支援を継続しなければならぬとの見解を示した。

この日午前、鳩山氏らはアルウイ・シハブ公共福祉担当調整相と会談。鳩山氏によるとシハブ調整相は、復興支援金の用途の透明性を図るため、独立した監査機関を設立する方針を説明し、復興支援の青写真の作成に「日本の協力をお願い

したい」と求められた。鳩山氏は、アジアの一員として、欧米にはできない支援を行うべきだと提言した。

鳩山氏は「バンダアチエ北西の被災地に立つとモスク以外、何も残らず、はるか海岸まで見通せる荒野が広がっていたことに衝撃を受けた。また、人々が、明るさを失わず、たくましく復興を目指して働いているのが印象的だった」「百聞は一見にしかずというが、実際に見ることでアチエ災害のスケールの大きさを改めて認識した」と現地を訪問した印象を述べた。

アチエに駆け付けた日本

自衛隊や日本の非政府組織（NGO）の活動については「ピース・ウィングス・ジャパン（PWJ）やアジア医師連絡協議会（AMDA）で、邦人女性が努力する姿に感銘した。自衛隊を含め、頑張っている日本人の姿が、インドネシア人に好意的に受け止められていると感じた」と説明。医療チームの活動が、風邪などの通常の医療に移行しており、インドネシア政府が希望するように、三月二十六日までに自衛隊が撤収することは妥当だとの見解を示した。

のNGOが、欧米に比べて少ない点を指摘された藤田氏は「日本のNGOの人材財源を増やす仕組みを整え、国際協力機構（JICA）や国際機関による復興支援とともに分業を図り、日本のNGOが参加しやすくするため、予算の割り当て制を設けるなどして、もっと多くのNGOを参画させていくべきだ」と語った。

また、榛葉氏は「アチエという特別な地域で起きた災害に対し、日本が復興と和平を絡めていく支援を行うよう、アジアの一員として欧米にできない支援を行うべきだ」と語った。

### ■ 監査機関を設置へ

アルウィ調整相は、鳩山氏らとの会談で海外の監査機関の協力を得ながら義援金の送付元、用途、振り分け先をチエックする監査機関を設置することを明らかにし、汚職にまみれたこれまでの政府とは違うことを国際社会に強く訴えていくと述べたという。

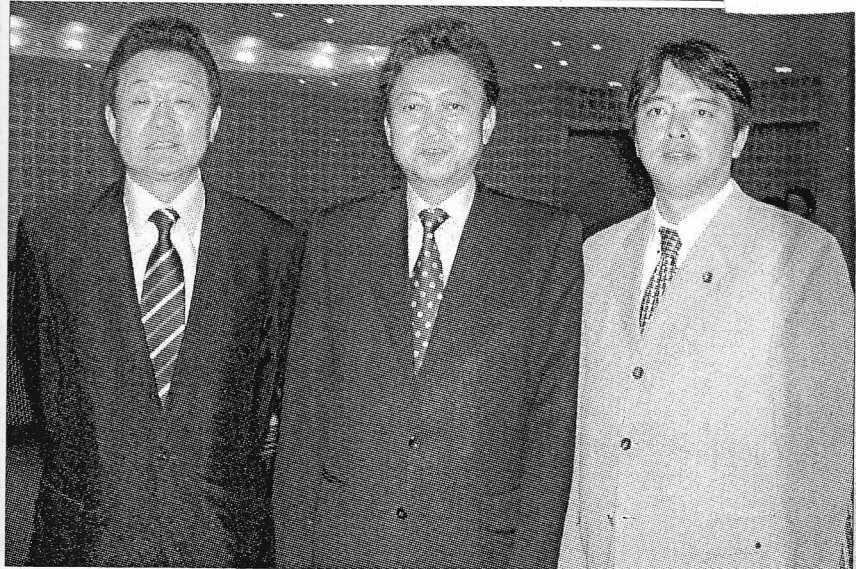
独立派武装組織・自由アチエ運動（GAM）との和平交渉について、アルウィ調整相は「GAMが武器を捨てて社会復帰できるよう、国際社会の協力を得て平和的に解決したい」と言及。鳩山氏らは「日伊両国

の政府がしっかりと協力して平和的に解決してほしい」と応じた。

また同相は「支援表明した海外諸国は、支援の約束のみにとどまったが、約束した無償資金五億ドルを即座に現金で支払ったのは日本政府だけだ」と語り、各国が約束を果たすための協力や復興の青写真作成に向けた日本の支援を要請した。

鳩山氏らは十六日午後、ジャカルタを出発。シンガポールを経由して次の視察地であるスリランカ入りした。

（水嶋真人、写真も）



民主党被災地調査団の一員としてアチエ州を視察した（左から）藤田氏、鳩山氏、榛葉氏